

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念が2年前に作られたもので、今の梅ヶ谷のスタッフの意識とかい離しており、絵に描いた餅で終わっているところがある。	現在の梅ヶ谷の家のスタッフの思いを反映した、新しい梅ヶ谷の家の理念を作る。	梅ヶ谷の家がどのような施設でありたいと思っているのか、自分たちがどのような方向に向かって行きたいのか、各スタッフの意見を個別にアンケートで取った上で、話し合いの場を設け、新しい理念を決める。	3ヶ月
2	2	地域の福祉関係者をはじめ、近隣との関係構築が弱く、地域福祉にお互いの力が活かしきれしていない。	地域の機関との連携を強化し、福祉力を向上させる。	ホームや地区の年間の行事に合わせて、計画的に、地区の保健師や自治会長、有力者とのつながりをつくる機会を持つ。	12ヶ月
3					
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。